

## 議事録（概要）

会議名	平成29年度 第2回芦屋町交通安全推進協議会					
会場	芦屋町役場4階 第41会議室					
日時	平成30年3月20日 14:00～14:40					
委員の出欠	会長	波多野 茂丸	出	委員	海東 克美	欠
	副会長	小田 武人	出	委員	濱口 陸司	出
	副会長	山田 寛	出	委員	靄井 達也	欠
	委員	三桝 賢二	欠	委員	村田 和彦	出
	委員	森山 真奈美	出	委員	浜小路 裕二	欠
	委員	守次 英文	出	委員	戸丸 明	出
	委員	瀬戸口 泰司	欠	委員	菅 伸二 (随員：林)	出
	委員	小田 昭裕	出	委員	甲斐 清司	出
	委員	長沢 正行	出			
件名・議題	<p>1. 会長挨拶 交通安全運動へのご理解ご協力についてのお願いがあった。</p> <p>2. 折尾警察署交通管理官挨拶 平成30年3月1日付けでの新任の挨拶があった。</p> <p>3. 議事 (1) 折尾警察署管内における事故発生状況及び春の交通安全県民重点項目の説明 折尾警察署交通管理官から説明が行われた。 (2) 平成30年春の交通安全運動実施要綱（案） 事務局から説明が行われた。 (3) その他 委員から質疑・意見等があった。</p>					
合意事項 決定事項	議事（2）「平成30年春の交通安全運動実施要綱（案）」について事務局から説明を行い、了承された。					

## 質疑応答及び意見と説明内容

議事（１） 折尾警察署管内における事故発生状況及び春の交通安全県民重点項目の説明	
委員	<p>平成30年2月末現在での2ヶ月間において折尾署管内の交通事故件数は223件（前年同期比：－44件）となっており、減少率としては16.5%の減少となる。また、県下での事故件数は1266件で減少率では7.5%の減少である。芦屋町は事故件数が7件（前年同期比：＋1件）となっている。また、交通事故の中でも死亡事故というのは折尾署管内で2件（前年同期比：＋1件）発生している。そして、死亡事故件数で昨日までの数値だと3件となっており、平成30年の死亡事故件数は非常にハイペースで進んでおり厳しい状況である。一方芦屋町では0件となっている。そして、交通安全運動の重点項目にもあがっている飲酒運転についてだが、飲酒運転の事故件数は折尾署管内で2月末現在において0件である。しかしながら、平成29年中は折尾署管内で10件発生していて、県下の中でもワースト1位で折尾署管内での飲酒運転による事故件数は多いと言える。そして高齢者の事故件数について、折尾署管内では2月末現在で84件（前年同期比：＋2件）となっており昨年と比べ、数値としては大きく増加していないが、折尾署管内の交通事故件数223件のうち84件が高齢者が絡む事故であり全体の約4割を占めている。そのうち芦屋町では5件（昨年同期比：＋3件）発生しており、芦屋町としても昨年と比べて増加している。今年の2月の途中から事故件数が多く発生していて、その事故においても全て高齢者の方が被害にあっている状況である。交通事故において、現在事故の加害者及び被害者ともに高齢者の方が非常に多い傾向にある。また、運転の際の急発進・急ブレーキは、シートベルトが固定され体を圧迫してしまい、体の弱い高齢者だと死亡する危険性も高めるため、高齢者に優しい運転を心がけてもらいたい。</p>
議事（２） 平成30年春の交通安全運動実施要綱（案）	
事務局	<p>春の交通安全運動については、早朝街頭指導また、交通安全キャンペーンを実施予定としているので、内容等の説明を行った。</p>
議事（３） その他	
委員	<p>春の交通安全県民運動の重点項目にもある自転車の安全利用の推進について、各学校での自転車の安全利用における取り組みなどはどのような取り組みを実施されているのか。また、自転車事故の際の保険の加入の推奨などされているのか。</p>
委員	<p>中学校については、学期に1度全体で生徒に自転車の安全利用について説明指導を行っており、来年度は4月初めに入学式を迎えるため、その週の終わりの土曜日授業において自転車の安全利用についての説明を行う予定としている。保険の加入については、平成29年度の初めに全校生徒に加入の案内の呼びかけを行った。しかしながら任意の加入でもあり、保険に入られていない家庭が多い状況となっている。</p>

委員	<p>小学校については、毎年小学1年生と4年生の児童を対象とした交通安全教室を実施している。また、学期ごとに配布している生活指導の生活のきまりにおいて自転車の安全利用について、記載を行い周知している。長期休暇に入る前にも、全校児童に周知を行っている。保険の加入については、新1年生の入学説明会の際や、7月ごろに全学年に保険の加入の案内を呼びかけている。任意の加入でもあり、加入率は少ない状況となっている。</p>
委員	<p>自転車の事故の際の被害補償等について、親御さん方はあまり重要視されていないというのが実態ではないかと感じる。しかし事故の内容によっては、多額の被害額が発生するような事例もあげられているので、そういった事例もあるということで親御さん方に理解していただくよう求めている。</p>
委員	<p>芦屋町の交通共済などには、自転車に関する保険が適用されるのではないかと。</p>
事務局	<p>詳しく内容を確認し、適用があれば今後住民への周知も図っていく。</p>